

教 育 研 究 業 績 書

2025年 5月 1日

氏名 笹 山 雅 司

研 究 分 野		研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
1. 心理学—教育心理学		教育心理学、親子関係、発達障害、教育相談	
2. 教育学—教育学		幼児教育・保育、家庭教育	
3. 教育学—教科教育学		各教科の教育（生活）	
教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項			
事 項		年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		平成27年6月	●札幌市南区保健師研修会 「もいわ幼稚園の教育・研究実践園業務について」 ○特別な教育的支援を必要とする幼児の体制、指導、保護者相談・支援の実際について、研究実践園としての業務についての講話
		平成30年12月8日	●札幌市学校保健会主催 第34回札幌市学校保健会研究大会 研究発表 健やかな身体を育む取組 「姿勢と健康について」 ○今後、人間が使わなくなるものは？（頭・体・人と関わること）、子どもの身体と心を育てる、「遊び」を通して姿勢も育つ、健康な身体を姿勢づくりについて
		令和2年4月	●ソニー科学教育研究会（SSTA）通信Vol.11特集「幼保小の連携」執筆 ○「大きな氷を作ろう！」（年長児）11月の実践から、「塩を入れると凍る」という子の提案で試してみるが凍らない。そこで隣接する小学校の図書館で調べることとなり、校長先生の紹介してくれた図鑑で凍るのは温度と関係があることが分かり、探求を重ねスケートリンクを作ったという事例を執筆。
		令和4年11月	●（一社）札幌市私立幼稚園連合会 豊平区研究委員会主催研修会 研修講師「気になる子どもの理解と支援」 ○特別な教育的支援を必要とする子どもの理解と支援の在り方について、 『ちょっと気になる子の理解と育ち 知恵とワザ』（久保山茂樹編著、札幌市教育委員会幼児教育センター監修、札幌市立幼稚園の先生方が協力して出版）を参考に具体的な子どもの困りをあげて解説した。
2 作成した教科書，教材		平成30年2月	●「笑顔のレシピ」（日めくりカレンダー）の作成 ○札幌市立もいわ幼稚園の研究の取組として、保護者を巻き込み子どもたちの「自己肯定感」を高めるために、我が子と触れ合うことを促す宿題を出し、実践された感想の言葉を集めて子育てに元気を与える教材として日めくりカレンダーを作成し、園の保護者や関係者に配布した。 ※添付資料の令和年度ソニー幼児教育支援プログラム教育論文にて紹介
3 教育上の能力に関する大学等の評価			

事 項	年月日	概 要
4 実務の経験を有する者についての特記事項	平成26年10月～現在 (毎年1回) 平成26年度～令和4年度 平成27年度～30年度 令和3年11月	●北翔大学教育文化学部教育学科にて講義・演習 ○教育実践演習…教育実習前の講義・卒業間近の学生に向けた講義 これまでのテーマは、「幼稚園教育の実際」「子どもたちは遊ぶことで学んでいる」「面白がることから始まる幼児教育」「保育って 奥深くて 面白い！」など ●大学から受け入れた実習生等に対する指導 担任として指導 (平成18年以前) ⇒園長として指導 (平成26～令和4年度) 大谷短期大学部専攻科、北海道教育大学、北海道文教大学、北翔大学、札幌国際大学、札幌大学短短期大学他 ○オリエンテーション (保育の基本、幼児理解、保護者支援などについて) ●大学外における学習を促進する取組 ○北翔大学や札幌国際大学、札幌大学短期大学部、北海道教育大学札幌校等の学生の日常の保育ボランティア、参観研修・保育指導 (年1～2回)、園公開保育・研究会での参観研修・協議への参加を促す。 ●「未来共創フォーラム2021」藤女子大学子ども教育学科公開講座 幼稚園代表のシンポジストとして登壇 (オンライン開催) コーディネーター：大室道夫氏 (藤女子大学教授)、シンポジスト：野切 卓氏 (伏見小学校長)、庄井良信氏 (藤女子大学教授)、笹山雅司 テーマ「予測困難な社会を生きる子どもたちの育ちを保障する 保育・教育とは」 ○幼稚園におけるコロナ禍が子どもに与えた影響、現場から見た子どもに身に付けたい力、これからの保育者に身に付けてほしい能力・態度など
5 その他	平成29年度～2年度 令和3年度～4年度 令和5年12月～	札幌市立藻岩南小学校 学校評議委員 札幌市立月寒東小学校 学校評議委員 認定こども園 聖ミカエル幼稚園 (札幌) 園評議委員
職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項		
事 項	年月日	概 要
1 資格, 免許	昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 昭和60年3月15日 平成28年2月15日	幼稚園教諭二種免許状 (免許状番号：昭60幼二普第1531号) 小学校教諭一種免許状 (免許状番号：昭60一普第小884号) 中学校教諭一種免許状 (社会) (免許状番号：昭60中一普第1306号) 養護学校教諭一種免許状 (免許状番号：昭60養一普第105号) 高等学校教諭二種免許状 (社会) (免許状番号：昭60高二普第1657号) 保育士資格 (登録番号 北海道-055327)
2 特許等		

事 項	年月日	概 要
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成3年7月	北海道教育委員会主催 幼児教育施設長研修Ⅰ期 研修講師 「オンデマンド研修」「園経営の実際」 ～環境を通して行う教育、保護者支援、地域社会と連携した教育活動、感染症対策を踏まえた教育活動の工夫～
	平成3年12月	札幌市教育委員会主催 幼小中合同教育課程協議会 「生活・幼児教育部会」の提言に対する助言 1 幼児教育と小学校教育のつながり 2 資質・能力 3 指導と評価の一体化
	平成4年1月	北海道教育委員会主催 幼児教育中堅保育者資質向上研修Ⅱ 研修講師 「指導計画の作成・展開と保育の反省・評価」
	平成26年4月～	園便り巻頭言（毎月発行）※ ○具体的な幼児の生活する中で自発的な活動としての遊びや生活の中で学んでいることを教育目標や教育要領と照らし合わせながら価値付けて発信してきた。
	平成28年8月	札幌市教育委員会主催 専門研修 研修講師 「保育の計画と実践～幼稚園教育の基本～」 ○環境を通して行う教育、遊びを通して総合的な指導、一人一人の発達の特性に応じた指導、保育者の役割、教育課程・年間指導計画、実践事例を通じた演習など
	平成29年6月	札幌市教育委員会主催 認定こども園新規採用教員研修 研修講師 「教育課程・指導計画～保育の計画と実践～」 ○保育及び教育の基本、カリキュラム・マネジメントの実現、指導計画を作成してみよう！ 指導計画の作成、幼児理解とは、指導計画の評価・改善など
	平成29年12月	北海道教育振興会 会報「教育振興」第494号 原稿執筆 教育実践 「社会に開かれた教育課程の創造」 テーマ「隣接する小学校との交流を通して豊かな心を育む」 ○隣接する藻岩南小学校とは20年以上前から幼児と児童の交流が行われ、職員間の交流で顔合わせや担任同士で交流計画を立案している。特色は、年中児と2年生、年長児と4年生が年5～6回互いの園や学校に訪問して交流しており、互いに心が育ち合うご形成のある機会となっている。
	平成29年12月	札幌市教育委員会主催 幼稚園教育課程研究協議会 研修講師 「社会に開かれた教育課程について」 ～園・家庭・地域が連携し教育・保育の質の向上を図るためには～

事 項	年月日	概 要
	平成30年4月	ベネッセ教育総合研究所「これからの幼児教育」2018年春号（年2回発行） 特集 『遊び』の大切さを保護者にいかに伝えるか？ ●事例3 「10の姿」を活用して遊びの中の学びを伝え育ちの見通しを保護者と共有する ○取組のポイント ・全ての家庭の保護者に保育に参加し、遊びの面白さを体験してもらう ・「10の姿」の視点から遊びの中の学びや育ちを保護者に説明し、子どもの成長の見通しをもってもらおう。 ・子どもの成長を支えている愛着関係を深めるための「宿題」をお願いする。 ※他のポイント解説と事例担当者 秋田喜代美（東京大学大学院教授） 鈴木康人（レイモンド南町田保育園園長） 田澤里喜（東一の江幼稚園園長） 磯部頼子（ベネッセ教育総合研究所顧問）
	平成30年10月	北海道教育委員会主催 幼稚園教育課程研究協議会 研修講師 「カリキュラム・マネジメントの適切な実施」 ①「10の姿」を踏まえた教育課程の編成・実施の工夫 ②全教職員で組織・計画的に教育活動の質の向上を図る取組 ③保護者や地域住民に対する幼稚園の教育方針、特色ある教育活動などの情報提供など、保護者や地域住民の理解や支援を得るための工夫
	平成31年1月	札幌市教育委員会主催 幼稚園初任段階における研修 理論実践研修2 「子どもを取り巻く環境を学ぼう！」研修講師 「自発的な活動としての遊び～もいわ幼稚園の取組～」保育計画と振り返り
	令和元年8月8日	苫小牧市教育委員会主催 苫小牧市幼児教育・保育研修会 研修講師 「育みたい資質・能力と10の姿を踏まえた指導の実際」 ○子どもを取り巻く環境と大切にしたいこと、遊びを通して学んでいること、資質・能力と10の姿、「豊かな遊び」を支えることについて講話。
	令和2年2月号	月刊 保育とカリキュラム（(株) ひかりのくに）実践紹介コーナー 執筆 「子どもと家庭がより良く生きるための子育ての支援」 テーマ「子どもの成長を共有するために」 ～遊びの中で学んでいることを実感していただくためには～ ○保護者の保育参加「遊ぼうday」の取組、「ハンドルを回のようにしたい」という思いを実現させる過程での保護者の関わりについて…執筆

事 項	年 月 日	概 要
	令和2年5月16日発表	●日本保育学会第73回近畿ブロック研究事例執筆・紙面発表 (コロナ禍) 北翔大学 工藤ゆかり准教授との共同研究発表 ①「子どもとともに作るドキュメンテーション1」 ～子どもと保育者の協同～ ○畑の野菜が、何者かに食べられていたのを発見し「野菜を守ろう大作戦」が展開されたがその経緯を写真で記録し、プリントして子どもと模造紙に貼りながら作成した。園研究のテーマの「思いや考えを伝え合う姿」につながり、視覚化することで子ども同士でも課題を共有することができた。 ②「子どもとともに作るドキュメンテーション2」 ～子ども・保育者・保護者にとっての効果～ ○保育者にとっては子どものつぶやきに注目するようになり、子どもの思いの実現に向けた援助が的確になること、保護者にとっては我が子理解や遊びを価値あるものとして捉え、遊びに関する親子の会話が增え、子どもの頑張りや成長を認めたり喜んだりするようになってきた効果が見られた。
	令和4～7年度前期(4～9月)非常勤講師	北海道教育大学札幌校 教育学部 「初等生活C」の講義を担当(前期2単位) 対象2年生 【シラバス】 1. ガイダンス 幼児教育(遊び中で学んでいること)とのつながり 生活科オリエンテーション、講義計画や履修方法、評価について 2. 生活科の全体像 教科目標・資質能力・内容構成…幼児教育とのつながり 3. 「がっこうたんけん」「まちたんけん」…スタートカリキュラムとのつながりで、個々の経験や関心を生かした学校探検の在り方 4. 空間・時間認識の広がり…幼児期からのつながりで、どう広げていくのか? 5. 栽培領域の基礎①栽培活動(野菜など)・発芽実験、幼児期の実践と重ねて 6. 栽培領域の指導②アサガオの栽培活動を通して 7. 生き物の飼育 身近な生き物との出会い、育てることで育つもの、外来種 8. 作って楽しむ①うごくおもちゃ…幼児期からの制作の育ちと合わせて 9. 作って楽しむ②紙飛行機などを工夫してみる 10. 家族の仕事とお手伝い…家族の中で役立つ経験から育つもの 11. じぶたんけん 自己認識の基礎…生まれてからの育ちのつながりの中で 12. 地域と生活・そこに生きる!…七夕飾り作り、地域の文化・生活を取り入れた指導…相手を知り、自分を知る…コミュニケーションの面白さ 13. 生活科の歴史…生活科の誕生、幼児教育とのつながり、改訂の経緯など 14. 生活科の評価…学習指導要領29年改訂の主旨、評価の実際 15. 振り返り…「生活科って面白い!」生活科物語のポートフォリオ作成

事 項	年月日	概 要
	令和4年9月	北海道教育委員会主催 幼児教育の質向上に関する研究協議会 (オンライン研修) テーマ「指導計画の作成と保育の展開～指導の過程の評価・改善～」講師 ○教育課程・指導計画の作成、指導計画（長期・短期）実践⇒評価・改善 について、本園の考え方、取組から解説
	令和4年10月	美術による学び研究会in北海道 主催研修会にて 研究発表 「保育ドキュメンテーションの取組」について
	令和4年11月	平成4年度子育て支援ネットワークづくり事業「子育てネット研修会」 研修講師 札幌市豊平区健康・こども課主催で、対象は、地域の子育て支援をされているボランティア・町内会関係者 テーマ「子育てに不安を抱える保護者への支援～地域の中でできること～」 ○コロナ禍の子育て環境の変化、マルトリートメント（不適切な保育）とは、本園でしている子育て支援、子育て応援団として地域でできること…を講話
	令和6年度後期（10～3月） 非常勤講師	北海道教育大学札幌校 教育学部 「初等生活科教育法C」の講義を担当（後期期2単位）対象3年生 【シラバス】 1. オリエンテーション、幼児教育と生活科のつながり、講義計画、履修方法、評価 2. 生活科の目標・内容構成・内容等について 3. 学校探検①スタートカリキュラム・子どものやる気を引き出す指導の工夫 4. 学校探検②ワークシート、授業づくり 5. 秋の自然探検①季節や自然観察、自然物を使った遊び研究・教材の工夫 6. 秋の自然探検②単元計画と指導案の作成 7. 秋の自然探検③授業づくり・振り返り 8. まち探検①まち研究・単元計画の作成 9. まち探検②指導案の作成・ワークシートの活用 10. まち探検③授業づくり・振り返り 11. 作ってためして①動くおもちゃ作り研究・教材の工夫・単元計画の作成 12. 作ってためして②動くおもちゃのパワーアップに向けて～指導案の作成 13. 作ってためして③授業づくり・振り返り 14. 自分探検 自分の成長を振り返る 15. まとめと振り返り・考察 ※単元毎に、①教材研究、②単元計画、指導案の作成、③実際の授業を想定した授業づくりや検討を小グループでの演習形式で進めます。

事 項	年 月 日	概 要
	令和7年度前期（4～9月） 非常勤講師	学校法人 北斗文化学園 北海道福祉教育専門学校 こども未来学科 こどもの指導法「環境」 対象2年生 【授業内容】 1. ガイダンス、現代の幼児の特徴 2. 幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」について 3. 自然と触れあい感動する 4. 物事の法則性に気付く 5. 季節感を味わう 6. 自然を取り入れて遊ぶ 7. 生命の営みに触れる 8. 身の回りのモノに愛着をもつ 9. 科学を体感する 10. 数量・図形に親しむ 11. 標識や文字の必要感を育む 12. 指導計画の作成 13. 身近な情報や施設を生かし生活を豊かにする、幼小接続について考える 14. 身近な自然と豊かに触れ合うための指導計画の立案 15. まとめと授業内試験
4 その他	令和5年 5月13日 令和5年6月 17・18日	●日本保育学会第76回大会（熊本学園大学、オンライン） 自主シンポジウム 話題提供・シンポジスト テーマ「子どもの主体的なあそび、学び、育ちを支える園庭・校庭・まちの環境について考える6」～乳児期から学童期の子どもたちの屋外環境とのかかわりの機会の重要性・可能性を再考する～ 企画・進行：仙田 考（田園調布学園大学大学院准教授、国際校庭園庭連合日本支部代表） 渡辺英則（ゆうゆうのもり幼保園・港北幼稚園園長） 話題提供：藤原みつ子（ゆうゆうのもり幼保園） 笹山雅司（札幌市立かっこう幼稚園 前園長） 鈴木暁範（横浜市こども青少年局保育・教育支援課 幼保小連携担当） 指定討論：松山洋平（和泉短期大学教授） ＜話題提供のテーマ・内容＞ 「幼児の遊び込む姿から園庭の環境を再考する」子どもが主体的に遊び、学ぶための育ちを支える園庭とは…」子どもが心動かし体を動かしたくなる環境…以下 ・教師との信頼関係ができ、安全・安心が守られ自分を自由に出来る生活 ・五感をフルに動かし心動かす直接的な体験 ・四季それぞれを満喫し、移り変わりや変化に気付ける生活 ・砂、泥・水・雪のように可塑性があり、何度も試す、工夫できる環境 ・生き物や命、自然の厳しさ、偉大さに触れる経験 ・先生や友達と関わり、真似たり、空想の世界を広げたりして遊び進める楽しさ ●日本生活科・総合的学習教育学会 第32回全国大会神奈川大会 テーマ『『はやぶさ』生誕の地からつながり合う学びの創造～問いをもち協働的に探求する子ども～』 ○公開保育の助言 ひよこ第3保育園（相模大野市） 「身近な野草を食べてみよう」を中心に子どもの遊びや食育の大切さを助言

事 項		年月日	概 要	
		令和3・4年度	＜行政機関からの委嘱等＞ 北海道教育庁学校教育局義務教育課幼児教育推進センターより委嘱 ●北海道幼児教育推進協議会委員（北海道国公立幼稚園・こども園長会長） ・年間4～5回の北海道の幼児教育の施策に関する行政事項を審議	
		令和4年度	北海道教育庁学校教育局特別支援教育課より委嘱 ●特別支援教育に関する基本方針（令和5～9年度）策定に関する審議委員 ・年間2回、5年に一度の基本方針改訂に関わり審議	
		平成26年度 平成27年～28年 平成29年度 平成30年度～ 令和2年度 令和3・4年度 令和3年度 令和3年度 令和3・4年度 令和3・4年度 令和3・4年度 令和4年度	○北海道国公立幼稚園・こども園教育研究会 事務局次長 ○札幌市立幼稚園・こども園長会 事務局次長 ○札幌市立幼稚園・こども園長会 事務局長 ○北海道国公立幼稚園・こども園教育研究会 事務局長 ○北海道国公立幼稚園・こども園長会 会長 ○東北・北海道国公立幼稚園・こども園長会 会長 ○全国国公立幼稚園・こども園長会 常任理事 ○全国国公立幼稚園・こども園長会 理事 ○日本教育会北海道支部 理事 ○日本教育公務員弘済会北海道支部 運営委員 ○札幌市PTA, 連合会 副会長	
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1. 特集1「子どもと屋外環境～主体的なあそび・学び・育ちを支える～」 テーマ「思いをもって遊び込む幼児を育む」 ～屋外の自然や地域社会と関わりながら～	共著	令和4年8月	「発達171号」(株)ミネルヴァ書房	仙田考（田園調布学園大学大学院准教授） 松山洋平（和泉短期大学教授） 笹山雅司（前札幌市立かっこう幼稚園長） 鈴木暁範（横浜市こども青少年局・教育支援課幼保小連携担当） 渡邊英則（港北幼稚園・ゆうゆうのもり 幼保園園長）他
2. 特集 幼児教育における主体的・対話的で深い学び 幼児教育～事例～ テーマ「遊びが主体的・対話的で深い学びとなるための指導の工夫」	単著	令和4年10月	「初等教育資料」2022年10月号 文部科学省発行(株)東洋館出版社	実践事例 笹山雅司（札幌市立かっこう幼稚園長） ○年少児「探検ごっこ」、年長児「スキージャンプごっこ」を通して、主体的・対話的で深い学びを実現させるために、幼児が心動かされる体験を丁寧に読み取り、幼児の自由な発想を生かして幼児のやりたいことを実現させる過程の探求が大切である。 論説担当 片岡元子（香川大学教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学術論文) 1.「幼稚園と小学校の交流活動に琉関する一考察」	共著	平成31年1月発行	北翔大学教育文化学部研究紀要 第4号2019	共同研究者 西出 勉（北翔大学教授） 亀山比佐（北翔大学非常勤講師） 笹山雅司（札幌市立もいわ幼稚園長） ○もいわ幼稚園に隣接する藻岩南小学校との交流活動の実践事例を通して、交流活動の指導計画や実践の特色、交流活動に対する園長及び校長のリーダー行動等について明らかにした。
(その他)				
●教育論文 ソニー教育財団 幼児教育支援プログラム メインテーマ「科学する心を育てる」				
研究主題 「子どもたちの豊かな生活を求めて～年間指導計画の作成を通して～」	共著	平成14年10月	平成15年度ソニー幼児教育支援プログラム教育論文	もいわ幼稚園研究部長として園の実践を取りまとめて応募 ●優秀プロジェクト園受賞 ○平成15年7月18日に「優秀プロジェクト園実践発表会（保育公開・研究発表・協議・シンポジウム・記念講演等）」を開催
研究主題 「子どもたちの豊かな生活を求めて～『感じる心』『探求心』『命の尊重』の視点から援助・環境のあり方を探る～」	共著	平成15年10月	平成16年度ソニー幼児教育支援プログラム	平成15年度同様の応募 ●優秀プロジェクト園受賞 ○平成16年7月2日に「優秀プロジェクト園実践交流会（保育公開・提言・グループディスカッション・記念講演等）」を開催
研究主題 「自分の気付きや思いを表す力を育む～気付きを発見したことを伝えようとする活動を通して～」	共著	平成29年8月	平成30年度ソニー幼児教育支援プログラム	もいわ幼稚園長として研究部長と共著で応募 ●奨励園受賞
研究主題 「自分の力や考えに自信をもち、前向きに行動する子ども～気付き、発見したことを伝え、教師や友達と探求していく過程を通して～」	単著	平成30年8月	令和元年度ソニー幼児教育支援プログラム	もいわ幼稚園長として園の実践を取りまとめて応募 ●優秀園審査委員特別賞受賞 ○翌令和元年8月30日に「審査委員特別賞実践提案研究会（保育公開・実践発表・協議会・講演会）」を開催
研究主題 「気付き、発見したことを友達と伝え合い、探求していく過程をとおして」	単著	令和元年8月	令和2年度ソニー幼児教育支援プログラム	もいわ幼稚園長として園の実践を取りまとめて応募 ●奨励園受賞
研究主題 「“問い”を生み、“対話”や“探求”を生み出す保育の実現を目指して～遊びの深掘りを支えるための豊かな環境とは～」	単著	令和3年8月	令和4年度ソニー幼児教育支援プログラム	かつこう幼稚園長として園の実践を取りまとめて応募 ●チャレンジ賞受賞

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他)				
●教育研究論文 日本教育公務員弘済会北海道支部 主題「学校の実態を踏まえ、明日の教育を考える」				
テーマ「学びの芽生えを育む幼児期の生活」 ～幼児が意欲的に遊びを展開するための教師の役割～	単著	平成26年9月	平成26年度 教育研究論文 公益 社団法人	あつべつきた幼稚園の研究の取組を研究論文として執筆して応募。「準特選」を受賞。
テーマ「自分の考えに自信をもち、前向きに行動する子ども～感じる、気付く、分かる、できるようになるための豊かな体験を通して～」	単著	平成29年9月	平成29年度 教育研究論文 公益 社団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部研究集録	もいわ幼稚園の研究の取組を研究論文として執筆し応募。「準特選」を受賞 ○実践事例をもとに、保育環境のカンファレンスの実施、PDCAサイクルで記録化すること、保護者の関わり方の変化により、子どもたちの自信につなげる実践の深化
テーマ「思いや考えを伝え合いながら遊ぶ子を育む」	単著	令和元年9月	令和元年度 教育研究論文 公益 社団法人 日本教育公務員弘済会北海道支部研究集録	もいわ幼稚園の研究の取組を研究論文として執筆し、応募。「準特選」を受賞 ○「思いや考えを伝え合う力を育てたい」という園の思いが家庭と同じ方向で協力を仰ぐことで、共に育ちを支える意識が見られてきた。
研究テーマ「幼稚園教育要領等の趣旨をふまえた園経営の工夫」 テーマ「保護者や地域と協働し『遊び込む幼児』を育てる園経営を目指して」	単著	令和4年3月	全国国公立幼稚園・こども園長会 令和3年度研究集録	○「子どもを真ん中に、職員、保護者や地域が協働し、未来につながる幼稚園として“遊び込む幼児”を育てる」ことを園経営の重点としている。研究の視点として、①家庭への啓発・発信の工夫、②保護者の保育参観・参加による幼児理解の深化、③地域の方との豊かな関わりの機会を生かすとし、実践していることを価値付けた。
年間テーマ 「これからの幼児教育を考える」 特集「共生社会の実現に向けて」 実践事例「幼児同士で育ち合う共生社会への取り組みについて」	単著	令和5年12月	全国国公立幼稚園・こども園長会発行 「幼児教育じほう」 2023年12月号	○2つの事例を通し、共生社会の実現に向けて、保育者が率先して傾聴する、幼児の思いを引き出すなど、受け止め合う土台づくりと誰もが相互に人格と個性を尊重し合い、幼児同士で互いに認め合える環境作りが大切であることを主張した。 論説 大方美香(大阪総合教育大学学長) 清川藍(名古屋大学大学院准教授) 意見 生重幸恵(特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長)